

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成18年11月28日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：9件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	ホットラボ換気空調用排気ファンにおいて、排気ダクトとの接合部に一部損傷が認められたため、当該ダクトを点検・修理	D	
2	2号機	原子炉隔離時冷却系蒸気供給管の局部漏えい確認用手動弁の点検時、弁上流側配管内部にバリが認められたため、当該配管を点検・修理	D	
3	2号機	原子炉格納容器内の現場パトロール時、照明（No. 3・6）の電線管外れが認められたため、当該電線管を取付	D	
4	2号機	復水脱塩装置樹脂ストレーナドレン弁の動作試験時、制御盤上の弁開閉表示に表示不良（開表示不点灯）が認められたため、当該弁表示回路を修理	D	
5	2号機	定期事業者検査（原子炉補機冷却系容器検査）成績書において、成績書に記載すべき検査期間中の「不適合処理実績」に記載漏れが認められたため、対応検討	C	
6	3号機	廃棄物処理設備廃液脱塩器マンホール点検時、胴部内面ライニングの一部に剥離が認められたため、当該ライニングを修理	D	
7	3号機	廃棄物処理設備廃液脱塩器の出口ストレーナの点検時、金網に変形が認められたため、当該金網を交換修理	D	
8	5号機	高圧注水系タービン排気管ドレン弁において、開閉表示ランプに点灯不良（不点）が認められたため、当該弁表示回路を点検・修理	D	
9	6号機	タービン建屋補機冷却系熱交換器（B）の探傷検査時、冷却管（2本）に判定基準値超えが認められたため、当該冷却管に閉止栓施工	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉停止 ・ 発電所外への放射性物質の漏えい ・ 非常用炉心冷却系の作動 ・ 火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合） ・ 管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい ・ 原子炉等への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・ 主要パラメータの緩やかな変化 ・ 人の負傷または病気の発生 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常小修理 など

＜原子力発電所における不適合事象の是正管理＞

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

＜注 意＞

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで